

〔実施事業〕 「第3回善光寺グローバルサミット」 長野高校SGH

〔日 時〕 第一部 平成30年7月5日(木) 14:00~21:00 (宿泊)
第二部 平成30年7月6日(金) 9:00~11:00

〔実施場所〕 白蓮坊(善光寺宿坊)、長野高等学校大体育館

〔参加生徒〕 3学年 男子0名 女子2名 計 2名

〔引率者〕 神林孝耶(地歴公民)

【事業のねらい】

3年SGH生が、これまでの課題研究から考察した社会課題の解決策を「提言」として発信し、外部からの評価を受けるとともに、県内他校、他県および他国の若者を含めた参加者と議論することで参加者全員の視野の拡大と深化を図る。それに先立つ1日目の第一部では善光寺の宿坊を会場として参加各校の情報交換と活動交流を行い、各校の活動の位置づけと今後の方向性を考える契機とする。

【研究要旨 内容】

(1日目)

- ・交流会…参加各校より約15分の研究発表を行った(課題解決的および国際的な活動に関する報告)
- ・意見交流…各校が課題研究および国際的な活動を行った中で感じた疑問、問題点、意見を求めるなど社会問題の解決策を提言し、それらについて意見交流を行った。

(2日目)

- ・提言発表…1日目に行った交流会、意見交流をもとに、研究発表の成果、問題点、課題解決に向けた意見等を模造紙にまとめ、長野高校生に向けて発表した。
- ・長野高校生の発表…長野高校生による課題研究発表を聞き、問題を共有し、解決に向け議論を行った。

【参加による生徒の成長 等】

生徒2名は、当初他校の高校生との関係で緊張しており、自らが研究してきた内容を明確に伝えられずにいるようであった。しかし、意見交流の中で他校の生徒とかかわりを深めることによって、抱き続けていた自分の研究に対する思いや課題解決に向けた提言など積極的にコミュニケーションが取れるようになっていった。加えて、他校の研究発表を聞く中で、プレゼンテーションにおける工夫や、それに伴う原稿の準備、課題解決に向けた新たな意見等を見出し、2日目の提言発表では1日目と比較し、より聞き手がわかりやすく、伝わりやすい発表がなされていたと感じた。生徒たち自身も「他校の取り組みから新たな問題や、新しい視点が得られ、有意義な時間であった。」と話していたとおり、本事業に参加したことで、生徒たちに新たな刺激を与えてくれたと考えている。





